



和歌山市民の“底力” 発揮してみませんか!? わかやまの底力・市民提案実施事業

和歌山では、市が抱える社会課題、地域課題解決を目指す「わかやまの底力・市民提案実施事業」が2005年から行われています。この事業は和歌山が抱える課題の解決に、民間の柔軟な発想であらうとするNPOやボランティア団体が企画提案し、採択された場合は和歌山市の担当課と一緒に事業に当たるもので、年々事業がレベルアップしています。



成果報告会の模様 (4月13日)

「底力事業」は採択時に市役所側に「協働窓口課」を設定するの大きな特徴。事業実施にはNPOやボランティア団体と行政が一緒になって事業を進めることで「官民協働」による相乗効果を図る目的があり、実際にこの事業を通じて大きな成果をあげたものも。みなさんも是非チャレンジしませんか。

今年も募集開始! 和歌山では、今年も市民のニーズを敏感にキャッチした事業や、行政では考えつかない発想の事業など募集しています。行政と共に和歌山が抱える社会課題、地域課題解決をめざしてみませんか? (植田祐起代)

■ 底力事業の2つの部門

部門	テーマ	補助金の上限	事業の実施年度
できることから すぐする部門	テーマ部門 (市が提示するテーマに沿って企画)	50万円 ただし自己負担が必要な場合あり	25年度
	自由部門 (自由な発想で企画)		
翌年度で 実施したい部門	テーマ部門 (市が提示するテーマに沿って企画)	150万円	26年度

■ 応募できる団体の条件

- (1) 和歌山市内に本拠を置く特定非営利活動法人 (NPO 法人)
- (2) 和歌山市内に本拠を置く市民活動団体 (ボランティアグループ、自治会、各種団体等)
- (3) 和歌山市内に居住又は通勤通学する16歳以上の者で構成されるグループ ※上記(2)、(3)は5人以上で構成され、かつ代表者は成人で、学生でないこと。

■ 応募締切

平成25年5月9日(木) 必着

■ 募集要項や応募用紙はこちらでご確認ください

和歌山市民環境局 市民部 市民協働推進課
(電話) 073-402-1213
(E-mail) shiminkyodo@city.wakayama.lg.jp
http://www.city.wakayama.wakayama.jp/energy/

和歌山ホームページ一番下のこのバナーから簡単アクセス!



みんなでつくる情報板

わかやまイベントボード

- ジントラ懐かしシネマの夜
県文リニューアル記念、演劇集団和歌山による演劇です。
日時 5月3日(金) 13:30～18:00
場所 県民文化会館小ホール
内容 昭和初めの和歌山を舞台に活動映画弁士やジントラ(数人からなる楽団)の姿を描きます。
入場料 前売り2,000円・当日2,300円(学生は100円引き)
問い合わせ 和歌山県文化振興財団 (073-436-1331)
- 茶摘み・釜炒り茶作り体験
新茶で釜炒り茶を作ります。
日時 5月6日(月) 9:00～15:00
場所 円満地公園オートキャンプ場(那智勝浦町大野)
内容 手摘み・釜炒り・手揉みなど。昼食や道具等も準備されます。
参加費 大人2,000円(生茶葉1kg含む)、小学生以下500円
申込み・問い合わせ 円満地公園オートキャンプ場(0735-56-0771)
備考 作業ができる服装で参加ください。
- 城の音わかやまお城クラシック
和歌山城をもっと楽しもうと継続的に開催されています。
日時 5月3日(金) 14:00～15:00
場所 和歌山城 伏虎像前
参加費 無料
出演 島梨帆さん(フルート)、小谷允城さん(ギター)
問い合わせ 城プロジェクト(080-1437-4171)
備考 雨天時は和歌山市役所南別館(和歌山商工会議所向かい)1Fで開催。
- 風土記寄席
小学生から大人まで出演します。
日時 5月6日(月) 13:30～15:30
場所 紀伊風土記の丘・旧柳川家住宅
出演 びよんびよん亭うさぎ、算数亭がんばる、ほかのみなさん
参加費 無料
問い合わせ わかやま楽落会(090-2100-8263、nope930@gmail.com)

このほかの情報もたくさん掲載! 「わかやまイベントボード」URL
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/



教職員OBを中心に、科学に関する教室を各地で開催しているわかやまSTC(サイエンス・シアター・キャラバン)。自身も小学校や中学校で科学教育に長年携わり、いまはわかやまSTCの会長を務める赤阪さんをご紹介します。

子どもたちに大人気! 活動の舞台は地域の行事や公民館、学校など。子どもや保護者を対象に体験活動を通じて科学やものづくりのおもしろさを伝えていきます。活動の際には教育委員会や公民館・図書館などと連携をとることを意識しており、単にSTCと参加者によるイベントにとどまらない工夫を生み出しているのも大きな特徴です。

学校現場での科学教育の縮小傾向を目の当たりにして、また人間関係が希薄になりつつあることを受け、地域の子どものためから大人までが科学やものづくりのおもしろさを感じてもらいながら、科学への興味・関心を高めることを目的としてつくられた。

教員時代から 赤阪さんは15年前に有田郡内の中学校の校長に就任。その後、いくつかの小中学校の校長を歴任し、自治体の理科教育の推進やエネルギー環境教育の研究・実践に携わるなど学校での科学教育に熱心に取り組みされてきました。退職後に和歌山サイエンス・シアター・キャラバン隊を設立(翌年度にわかやまSTCに改称)、小中学校・大学の教員OBの団塊世代のメンバーが集まり、各地へ科学教室やものづくり教室を展開するようになりました。

特徴。昨年度開催した講座の数はなんと75。メンバーも教員OBだけでなく、エンジニアや農業経験者等多彩な経歴をもつ方が加わり、さらにバラエティが豊かになりました。また、講座の対象は徐々に広がりに広がっています。今年度は公民館での連続講座でお年寄りを対象にした科学教室をおこなうそう。「あまりお年寄り対象に講座をしたことがないので不安もありますが、少しでも楽しいと思ってもらえるようにがんばります」と赤阪さん。

志場久起

数字で見る和歌山のNPO

4 団体

和歌山県内から県外へ事務所を移転したNPO法人数

NPO法人は「主たる事務所」が他の都道府県に移転する場合は、所轄の都道府県も変わります。和歌山県認証のNPO法人のなかで他県に事務所を移転した団体はNPO法人制度ができて13年の間でわずか4団体。地元密着らしいNPOの特徴がこんなところにも表れています。

出典: 和歌山県 NPO・県民活動推進室資料より

地域の横顔 ゲスト わかやまSTC会長 赤阪 健司さん

左上の写真は今年4月7日に海南市下津町で開催された「三郷八幡神社春祭り」でわかやまSTCが出展した「科学おもしろ遊びコーナー」から

わかやまSTC(サイエンス・シアター・キャラバン)
〒649-0122 海南市下津町黒田86-3
URL http://www.geocities.jp/wakayamastc/
E-mail wakayamastc@yahoo.co.jp